

助成対象事業成果概要報告書(概要版)

制度名	チャレンジド向け通信・放送役務提供・開発推進助成金
助成対象事業名	インターネットを利用したクラウド型情報保障サービスの提供
助成対象事業者名	特定非営利活動法人 メディア・アクセス・サポートセンター
助成金の額	4,054千円

【助成対象事業の全般について】

①	助成対象事業の概要	映画、映像コンテンツの他、緊急災害時に流れる「音声情報」を聞き取る事が出来ない聴覚障害者に向け、「音声電子透かし」を使って、字幕や手話をスマートフォンに表示する。
②	助成対象事業の目標	PCを使ったDVD用字幕配信をベースに、上流である「劇場公開」映画にて字幕、音声ガイド制作、スマートフォンアプリによる配信、そしてアーカイブを行う。さらに防災放送用音声にも対応を広げていく。

【平成27年度実施部分について】

③	助成対象事業の実施内容	<p>アーカイブと配信</p> <p>①字幕配信:20作品 アーカイブと配信 実績数(予定数) 字幕数 20(20)</p> <p>②音声ガイド配信 アーカイブと配信 実績数(予定数) 音声ガイド数 10(10)</p> <p>③字幕&手話 防災放送 実績数(予定数) 字幕のみ 28(100)</p> <p>映画・映像業界を中心に啓蒙活動を行い対応を進めた。</p>
④	助成対象事業の成果	<p>スマートフォンアプリと配信サーバを使ったバリアフリー字幕、音声ガイド、手話の提供システムは完成し、障害者差別解消法施行の4月より本格的な運用が始まる。これは助成事業の大きな成果となった。</p> <p>今年度進まなかった防災放送への対応は、映画館において字幕、手話配信中に、自動的に切り替わる仕組みもできたので自然に導入が進むと思われる。</p>
⑤	補足説明事項	映画館で字幕を表示できる「メガネ型端末」はセイコーエプソン社をはじめ、計4社と実証実験を実施してきた。来年度秋以降に新製品が発売される予定で、その利用は広がってくと思われる。